

いわき毎夕 発行所 常磐市三画243 常磐市三画19 常磐市三画19 常磐市三画19

危機ふかまる石炭産業

水谷代議士ら調査に来磐 今後は原子力との競争

戦中戦後を通じて、基礎産業としてわれわれ日本経済界のせん望の的となつてきた石炭産業も朝鮮動乱終結を機に斜陽産業化し、全国の産業界が下底を切り上げつつある中で、ますます深刻な様相を示している。

問題解決は中央で

水谷代議士語る

武蔵代議士らと共に来磐した水谷三郎代議士は議員団を代表して、その対策をたてるために、常磐に来た。炭礦の不況は、



照れ屋のウツバミ

つばは案外ケムにまぐとも上手なう。同級生には平市の竹林病院長、鈴木平一中校長、常磐市役所仲里収入役などの名士が多く、家

45年度に立直る 貯炭補助金政策を行え

ソフレミン調査団提唱 雇用一・三%減 政府労働白書 九日発表された政府の労働白書

経営方針を転換 貯炭二十四万トン

もなう需要減、高炭価による輸入炭の増大、重油転換などが不況のはじまりであった。その後年を追って貯炭の増加、中小炭礦の倒産が続出し大手炭礦で

夫婦ケンカの仲裁も 常磐市 はやる生活相談室

常磐市役所では市民の福利厚生をはかるため去る五月から市民相談室を設けたが、一カ月平均四十件のほるほどの利用

暴行男捕る

茨城県鹿嶋市は平署からの手配で九日四倉町本町生れ無職千葉(二四)を婦女暴行未遂の疑

車内で盗まる

常磐線下り列車内で九日から十日にかけて二件の盗難事件があった。

会長に鈴木氏

全日本労働組合連合会の定期大会は九日正午から湯本大民館にひら

御挨拶

常磐総合開発の穂首が高らかにひびき、東北の京浜地帯として政治、経済、文化の華が咲きほころうとしております

いわき毎夕新聞社

有賀新助 書記長 吉田四郎 文化部長 高野正 婦人部長 前原メメ 会計部長 高木公平

からッ風

△きのう東京都で松川を守る夕がひらかれた。今年下山、三鷹、松川など奇襲三つの事件

祝 発刊

平市役所

市長 諸橋 久太郎 収入役 根口 益利

平市議会

議長 大賀 泉三郎 副議長 志賀 信三郎

文教厚生委員会

委員長 佐町花志小松坂金 副委員長 渡鈴宮和鈴諸石

経済委員会

委員長 渡鈴宮和鈴諸石 副委員長 渡鈴宮和鈴諸石

建設委員会

委員長 渡鈴宮和鈴諸石 副委員長 渡鈴宮和鈴諸石

四強矢坂塩中小塩箱 国渡上木鈴遠山金佐 渡鈴宮和鈴諸石 佐町花志小松坂金

